

学校運営協議会 会議実施報告書

このことについて、「岐阜県立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則」第8条第1項に基づき、次のとおり学校運営協議会を開催しましたので、その概要について報告します。

- 1 会議名 岐阜総合学園高等学校 学校運営協議会 (第1回)
- 2 開催日時 令和6年6月4日(火) 13:30~15:30
- 3 開催場所 岐阜総合学園高等学校 会議室
開催にあたり、委員による校舎見学を実施した
- 4 参加者

| | | |
|-----|-------|--------------------|
| 会長 | 神谷 政人 | (社) 中部地域づくり協会 |
| 副会長 | 熊田ますみ | 平成医療短期大学教授 |
| 委員 | 山岸 勇幸 | 須賀地区兼須賀東地区自治会長 |
| | 長屋 恭一 | 同窓会会長 |
| | 菊池 啓子 | 中部学院大学短期大学部教授(欠席) |
| | 松岡 奈々 | P T A役員(副会長) |
| | 河合香緒里 | P T A役員(副会長) |
| 学校側 | 片岡 潤子 | 校長 |
| | 加藤めぐみ | 事務部長 |
| | 曾貝 隆之 | 教頭 |
| | 籠橋美和子 | 教頭 |
| | 福井 恵梨 | 総合企画部長(欠席) 代理 水谷智美 |
| | 川口 智慎 | 教務主任 |
| | 山田 祐治 | 生徒指導主事 |
| | 柳瀬 智裕 | 進路指導主事 |

5 会議の概要(協議事項)

(1) 令和6年度 教育指導の重点及び学校経営計画/各分掌の方針・取組

意見1: 総合企画部は昨年度から発足した分掌だが、それぞれの計画や取組に先生方が更なる力を入れており、昨年度に比べて内容もバージョンアップし、素晴らしいと感じた。

意見2: 岐阜県教育振興基本計画の28項目に対応して「教育指導の重点及び学校経営計画」を作成したと説明があったが、今、岐阜総合学園高校が行っている教育は十分対応できているように思う。引き続き総合学科の特色を生かして、幅広い教育を行ってほしい。今年度、進学対応のクラスを新たに作り、進学を目指した授業を行っていくことで、系列の授業に加え、より生徒の希望に応じた学習が可能となる。系列の授業を中学で体験させる活動についても、継続してもらいたい。

意見3: 子どもが、学園祭やスポーツフェスティバルでスマートフォンを使用したいと言っている。使用許可についてうかがいたい。

⇒生徒会のアンケートを元に、昨年度の学園祭では使用を許可し、開会式で、生徒会が作成した動画を用いて全校に使用のマナーを伝えた。問題が起きないか心配したが、なにげもなく終わった。スポーツフェスティバルについては検討していく。

意見4：東西・南北とも車の通行が多く、高校生の自転車事故を心配している。自治会で小学生の親も共に見守る活動を行っている。高校生も自転車のマナーを守ってもらいたい。歩いている生徒も、2～3人で並んで歩いていると危ない。

意見5：車との事故も心配だが、小学生も同じ時間帯なので、歩行者や小学生に気をつけてもらいたい。

意見6：ヘルメット着用の現状について教えてほしい。

⇒県によっては高校生のヘルメットを強制しているが、岐阜県では現状どの学校でも難しく課題となっている。保護者に入学式などで訴え、一年次生は上級生に比べて着用率が上がっている。今年度、岐阜市の自転車安全推進校に任命された。今後も、ヘルメットの着用も含めて交通安全活動を実施していく。

意見7：校舎の解体工事について、校舎の西側は住宅が密集しているため、情報を前もって自治会に伝えてほしい。

⇒8月中旬から解体工事は着工予定である。情報を随時自治会に連絡していく。

意見8：開かれた学校づくりということで、バリアフリー化や障害のある生徒も学べる環境づくりを行っており、すばらしいと感じた。さまざまな生徒がクラスや学校にいて、生徒たちの思いやりや協調性が成長すると感じた。

意見9：日課を変更し、朝のSHRをなくしたことによるメリットやデメリットについてうかがいたい。

⇒職員の働き方改革、業務の平準化、生徒自身の自律と時間の有効活用のため、昨年度の試行の上、本年度より朝SHRをなくした。先生方によっては朝SHRで生徒の様子を見たいという気持ちがあるが、全員の教員が全員の生徒の担任だという基本姿勢でいく。生徒の対応は良く、1限のチャイムが鳴る2～3分前には生徒がそろっている。

意見10：資料に「総合ブランドの育成」という言葉がある。岐阜総合学園に来てよかったな、というブランド力をつける、今その途上だと思う。さらなる取組を応援したい。

⇒「総合学園高校を卒業した」と死ぬまで自慢できる学校にしたい。

(2) 高等学校に期待される社会的役割（スクールミッション）の策定について

意見1：「ふるさと教育」に関連して、岐阜県、岐阜市をいかによくするかといった視点を持ちつつ、地元根付く職業教育について触れてあるとよい。

意見2：「地域とともにある学校」という言葉により、ここに総合学科があって、地域の自分達が見守っているという環境ができるのではないかと。

意見3：生徒の「自立性」も特徴である。本校の生徒の発言力はすばらしく、是非伸ばしてほしい。

意見4：「凜として美しく」という生徒指導部の言葉は素晴らしい。本校の生徒は強制的でなく、本当に心のこもった挨拶をしてくれる。基本的な指導をおさえ、ひきつぐべきところはひきついで伸ばし、発展させてほしい。

意見5：幅広い知識、能力を持った生徒がたくさんいるのも特徴である。スポーツの大会や総合文化祭などで、優秀な成績を挙げている。

6 会議のまとめ

第1回学校運営協議会では、全委員より今年度の本校の学校経営計画を踏まえた学校運営基本方針について承認が得られた。

協議および新たに策定していくスクールミッションについて、多くの質問や意見が得られ、本校の多彩な取組や今後の発展への期待が多く寄せられた。本会議をふまえて学校運営の改善を図り、総合学科の魅力を最大限に生かした岐阜総合学園高校ならではの教育を実践したい。